

1. 有機フッ素化合物の分析法の検討

環境科学課 東郷 孝俊・小原 浩史
中牟田 啓子

第 35 回九州衛生環境技術協議会

有機フッ素化合物は試験室内でも様々な場所で使用されており、定量値への影響が問題となる場合もある。そこで本研究所では、ブランク値低減の検討を含む有機フッ素系化合物の分析法について検討を行った。

有機フッ素化合物の LC-MS/MS による一斉分析条件を確立後、操作ブランクの低減化を検討した。市販の超純水を固相抽出し測定を行ったところ、今回使用したどの超純水でも PFOA が検出された。汚染源として使用器具や固相前処理装置が疑われたので、洗浄方法を検討した結果 PFOS・PFOA 分析用超純水から、PFOA はほとんど検出されなくなった。この条件を用い添加回収試験を行った結果、1ng/L 未満の定量が可能であることがわかった。